

8. 中国（地域別調査機関：（社）中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連	良くなっている			
	やや良くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・現在は農繁期のため暇なのが通例であるが、例年に比べると人の動きが良くなっており、3か月前に比べても人の動き、販売数量とも上向いている。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・集客に対する施策を打ったことと、天候が暖かくなってきたことで、婦人雑貨の売れ行きが良い。
		衣料品専門店（地域ブロック長）	来客数の動き	・一品単価や客単価はまだまだ低い状態であるが、来客数が徐々に増加してきている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・天候も良くなるとともに、BSEの問題も落ち着き、レストランへの客の動きが良くなっている。
		パチンコ店（企画担当）	来客数の動き	・レジャー産業においては、ゴールデンウィークのある5月に、好調に来客数が増えるのは例年通りだが、今年は休みに恵まれていなかった割に、SARS等の影響で来客数が多い。
	変わらない	一般小売店〔靴〕（経営者）	単価の動き	・客の買物の予定額が非常に厳しくなっている。良い品であっても、予算が予定を上回ると手を出そうとしない。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・比較的落ち着いた感はあるものの、売上は落ちている。
		百貨店（統括）	それ以外	・商店街で観光客を取り込む努力をしているため、比較的落ち着いた感はあるが、何もしないと売上は落ちている。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・売場で子供服、紳士服の動きをみても、以前と比べて客に購買意欲が感じられない。
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・婦人服の買い替えも、最低限のTシャツだけとか、1点買いの客が多く、コーディネートしたセット買いはほとんどみられず、全体的に客単価が低下している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・5月の初頭はゴールデンウィークで、来客数も増加し売上も上昇しているが、それ以降厳しくなり、5月末に行った招待セールで売上が普段より低下している。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・催しを中心としながら、毎週、集客を図っているが、マイナス基調であり、チラシ掲載の目玉商品のみの購入が目立ち、他商品への波及効果が少なくなっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・ゴールデンウィーク期間中は、ドラマの影響もあり、かなり集客があったものの、それ以降はゴールデンウィークが終わると極端に集客が減り、月末にセールを行って回復を試みるものの、なかなか数字が上がらない。
		百貨店（売場担当）	来客数の動き	・サンダルの動きは全体的にはそれほど良くないが、ウォーキングシューズやカジュアルシューズなどが良く動いているため、全体的にはサンダルの落ち込みをその他の靴で補っている状況である。
		スーパー（店長）	単価の動き	・例年と比べて全体的に単価が2%程度下回っている状況が続いている。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・ナショナルブランドの商品の単価が下落している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・売上は順調に微増しており、以前のように他社との駆け引きで売上を取るといった状況から脱し、ある程度厳しい状況からの緩和の兆しがある。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数には回復基調がうかがえ、底を打った感がある、その一方で販売量には依然回復傾向がみられず、顧客の財布のひもは固い。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・3か月前と比べて、衣料関係やスーツ部門については来客数に変化はなく上向きではないが、他のアイテムに関しては、ここ最近の暑さから上向きになっている。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・今月は来客数が減少したものの、単価が上がっているため、例年に比べて売上は伸びている。 ・気候が暖かくなり、男性客が動き出している。

家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数が非常に減少したため販売量も低下しており、AV関係が不調のうえ、エアコン、冷蔵庫等の売上も伸び悩んでいる。	
家電量販店（店長）	来客数の動き	・店がショッピングセンターに隣接しているため、来客は3か月前とあまり変わらず順調である。	
家電量販店（副店長）	販売量の動き	・前年のワールドカップを考慮して、AV商品の大幅ダウンが予想されたが、それほどダウンはみられない。 ・それ以上にパソコンの新製品の入荷遅れが売上低下に影響している。	
乗用車販売店（総務担当）	単価の動き	・新型車が出たが、価格が高額なため販売増にならず、小型車の方に販売が移っている。	
住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・来店しても契約できる客が以前よりも少なくなっている。	
その他専門店〔贈答品〕（店員）	単価の動き	・昨年と比べてプライダルの引き出物関係が伸び悩み、単価も下がっている。 ・拳式、披露宴も少人数で行い、2次会を企画しない傾向がある。	
高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・週末は個人客が多いが、平日夜の来客数は相変わらず低迷している。	
旅行代理店（団体営業担当）	来客数の動き	・SARSによる旅行の手控えが、やや少なくなってきた。	
タクシー運転手	来客数の動き	・1日を通して動きがなく、町中を早朝昼間と流しをしても、なかなか客を捕まえない。 ・観光客の流れも自家用車、市内循環路線バス、観光バスなどに流れている。	
通信会社（経営者）	お客様の様子	・加入契約数がここ数か月の実績から低下したまま推移しており、増加の兆しがみえない。	
通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・当業界で顧客獲得の販促キャンペーンは、今年に入ってから特に激化しているわけではないが、引き続き採算度外視が続く状況に変わりがない。そうした販促による新規客獲得には目覚ましいものがあるわけではなく、パイの配分に終わっており、各社現状維持の状態が続いている。	
テーマパーク（広報担当）	来客数の動き	・全体的に集客数は下降気味であるが、イベントを行えば相応の反応がある。	
テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・来客数の動きは良くなっているが、有料となるイベントの参加状況は良くない。	
レジャー施設（営業企画担当）	来客数の動き	・日帰り温泉部門の入館者数は、ゴールデンウィークが1日少なかったことを差し引いても、例年と比較して2桁ダウンは避けられないが、飲食部門の利用は、ヒット商品の効果もあり、寄食率は向上している。 ・ホテル部門も企画の効果から、例年を上回るペースまで回復している。	
設計事務所（職員）	販売量の動き	・依然として個人住宅の新築、改装およびアパート、マンションの建築が多い。	
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・契約件数、契約金額、着工件数ともに例年よりまだ低迷しており、上向きの兆しはみえない状況にある。	
やや悪くなっている	商店街（代表者）	お客様の様子	・SARSの報道から、中国製品に対する客の問い合わせがあり、特に高齢者の方に中国製品の買い控えが見受けられる。
	百貨店（売場担当）	単価の動き	・広告媒体の販促を打っても、大きな売上の山がない。 ・客の母の日ギフトに関する考え方が多様化しており、物をどんどん贈るという状況ではなくなっている。
	スーパー（店長）	単価の動き	・今までと同じ価格ではなかなか商品が動かず、更に下回った価格まで落とさなければ販売数に結びつかない。
	スーパー（店長）	販売量の動き	・堅調であった食品の売上が若干低迷してきている。
	スーパー（店員）	来客数の動き	・周りに競合店が増え、値段をかなり比べるなど、客の選択が厳しい。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・飲酒運転罰則強化の影響で、ビールの売上が昨年を大幅に下回っている。
	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・法人需要の落ち込みが大きい。 ・個人需要も小さく、単価の低い物に嗜好が偏っている。

		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・カーオーディオ、ビジュアル関連商品の動きが若干上向いてきているものの、ゴールデンウィーク明けの来客数の落ち込みで、オイル交換や車内小物の動きが悪化している。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	お客様の様子	・商店街を歩いている客が、あまりショッピングバッグを提げておらず、買物をせずただ歩いているだけという感じである。
		一般レストラン（営業担当）	来客数の動き	・依然として既存店レベルでの集客数のダウンが続いている。 ・生ビールのタイムサービス等、例年にないサービスを始めているものの、郊外店では飲酒運転罰則強化のせい、集客に結びついていない。
		タクシー運転手 タクシー運転手	それ以外 販売量の動き	・深夜の歓楽街の客の減少が止まらない。 ・以前は介護で利用のあった客が、介護料の負担が増したことで利用できなくなってきた。
	悪くなっている	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・2～3月は、購入後6～7年目で買い換え時期がきた車の購入や、グリーン税制変更の前倒し需要があった前年を上回ったが、4月以降その影響により前年を大きく下回っている。
		乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・新車の販売が例年に比べて、大幅に落ち込んでいる。
		旅行代理店（経営者）	来客数の動き	・SARS発生のため、海外旅行が前年の約6割に落ち込んでおり、かなりの予約が取り消されている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・駅構内に待機しても、列車到着にもかかわらず、1台もタクシーが動かないということがあり、明らかに観光客と思われる人もバスに乗る光景が多くなっている。
企業動向関連	良くなっている やや良くなっている	-	-	-
		窯業・土石製品製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・注文品の納期が集中し、生産量は高水準が続いている。
		鉄鋼業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・国内は依然低迷状態が続いているものの、アジアを中心とした輸出は堅調である。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・新商品の大幅な増産の要求があり、土曜日の夜勤まで生産し、対応する部門が出てきている。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・単価は横並びであるが、少しずつ仕事が入ってきている。
		金融業（業界情報担当）	取引先の様子	・取引先の多くが受注好調で、フル操業を継続中であり、コストダウン効果も加わって増益基調である。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・全般的に生産稼働率にはあまり大きな落ち込みがなく、無機、有機製品ともに若干需要増の傾向であるが、安値のため利益率が悪い。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・需要は堅調なもの、原油、ナフサ価格の下落に連動して製品価格が低迷している。
		非鉄金属製造業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売量は底を脱した感もあるがまだ十分ではない。ここ最近の傾向は大きな増減はなく、ちょっと増えたと思ったらまたすぐに減るといった繰り返しである。 ・販売価格は下がる一方で、特に電池材料に関しては最終製品である電池の価格が低過ぎて、価格が改善されるのは相当難しい。
		電気機械器具製造業（広報担当）	受注価格や販売価格の動き	・値段の回復傾向があったが、上昇止めの感がある。 ・アメリカの景気も厳しく、回復の兆しがみえない。
		その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・企業業績では幾分上向きの企業もみられるが、内容を見ると海外での販売が伸びたことが大きく影響しており、国内販売が伸びたところはまれである。
		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・新年度に入っても引き合い、受注動向はあまり変化なく、情報通信システムの整備理由として、業務効率化よりコストダウンを重視する傾向が続いている。
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・景気の低迷で企業の転勤の手控えが非常に多くなっており、特に不動産、賃貸業は契約件数が減少してきている。

	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・住宅、建設関係の広告は減少しているものの、携帯電話など通信機器関係の出稿が特に堅調になっている。 ・地場企業の求人広告は依然として少ないが、福祉関係は良好な状態である。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・物販などの製造業が悪かったが、ここ最近になってサービス業まで悪化している。	
やや悪くなっている	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・今まで作ってきた製品の受注販売が減少しつつあり、新しい製品は量産体制に入れていない。	
	一般機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・SARSの影響により、台湾の取引先の商談や、現地での商品テストが難航し、海外事業に悪影響を及ぼしている。	
	輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・主力商品である宅配荷物は減少しているものの、安価な新商品が増加しているため、売上自体は若干伸びている。 ・客と取引先は、質的なものより価格によって選択する傾向が強い。	
	輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・農産物を中心とした商品の動きが悪い。	
悪くなっている	農林水産業（従業者）	それ以外	・ブリがこの時期では珍しく豊漁となっているものの、イカ漁が例年になく不振で、巻網船も不漁である。	
雇用関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	求人情報誌作成会社（統括）	求職者数の動き	・少しではあるが、当分の間求人数を押さえてきた分、人をもう少し採用しようという動きが出てきている。
	変わらない	新聞社〔求人広告〕（広告営業担当）	求人数の動き	・景気は以前と変わらない状況にあり、求人数はやや増加傾向にある。ただし求人が増えている業種は限られている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・電子部品製造業の事業所や派遣、請負業から、まとまった人数の求人募集がある一方で、事業所廃止の動きのあるところもある。
		民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・業務遂行能力がかなり優れていても、中途採用については、企業は年収をかなり抑えた採用条件を出してきている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人情数はさほど減少傾向にはなっていないが、実際の就職活動においては、企業からの求人と学生との要求とがマッチしている状態とは言えない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	採用者数の動き	・採用広告は減っていないが、求人数や職種が限定される傾向がある。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職は、建設業からの離職者を中心に、トータルでも増加傾向となっている。
職業安定所（雇用開発担当）		求人数の動き	・わずかながらだが、有効求人数が前年同月より減少している。	
悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・安価な賃金でも慢性的に不足感がある職種と、高賃金ながら採用に妥協がみえないため、不足感を訴える職種がある。	